シャーリー・テンプル

Shirley Temple

生年月日 1928/04/23
出身地 アメリカ／カリフォルニア州サンタモニカ
没年 2014/02/10
関連人物 ジョン・エイガー（元夫）
マリナ・ブラック（姪）

【バイオグラフィ】

■本名はShirley Jane Temple。父は銀行の頭取。母が早くからその才能を見出し、1932年、４歳で映画デビュー。やがて作曲家のジェイ・ゴーニーに認められ「歓呼の嵐」に出演して大人気を博し、８歳の誕生日には１３万個に及ぶプレゼントが届いたという（日本では当時シャーリー・テムプルと呼ばれていた）。３８年ごろには一本の出演料が100万ドルを越え、かわいい子役から完全にスターとなった。しかし４０年あたりから次第に人気も薄れ、映画各社から出演交渉があったがどれも企画段階で消滅。４４年にはセルズニックと７年契約をするも「独身者と女学生」が注目を受けた程度で結局大成はしなかった。５０年に引退。その後は政治に興味を示すようになり、６７年にカルフォルニアで下院議員の補欠選挙に打って出るが落選。６９年にはフォード大統領から国連の代表に任命され７０年まで就任。以降７４年にはガーナ大使を７６年まで、８９年にはチェコの大使に就任した。サンフランシスコ映画祭の審査委員となったこともあり、スウェーデン映画を非難するなどタカ派としても有名だった。４５年にジョン・エイガーと結婚するが５年後に離婚。同年再婚した。2014年２月に老衰のため死去。享年８５歳。

【フィルモグラフィ】

シャーリー・テンプル物語（2001）	原作
妖艶美女大全集／銀幕の女神たち（1965）	出演
我輩は新入生（1949）	出演
令嬢画伯（1949）	出演
シービスケット物語（1949）	出演
アパッチ砦（1948）	出演 :フィラデルフィア・サースデイ
独身者と女学生（1947）	出演
どたばたハネムーン（1947）	出演
接吻売ります（1945）	出演
君去りし後（1944）	出演
戀の十日間（1944）	出演
シャーリー・テンプルの夢みるお年頃（1942）	出演
テンプルちゃんの小公女（1939）	出演
農園の寵児（1938）	出演
天晴れテムプル（1938）	出演
ハイデイ（1937）	出演
テムプルの軍使（1937）	出演
軍使（1937）	出演
テムプルの灯台守（1936）	出演
テムプルの福の神（1936）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

テムプルの愛国者（1936）	出演
テムプルのえくぼ（1936）	出演
小聯隊長（1935）	出演
私のテンプル（1935）	出演
テムプルちゃんお芽出度う（1935）	出演
紐育の口笛（1934）	出演
輝く瞳（1934）	出演
南国の恋唄（1934）	出演
ベビイのお目見得（1934）	出演
可愛いマーカちゃん（1934）	出演
久遠の誓ひ（1934）	出演 :ペネロープ・デイ（ペニー）
心の緑野（1934）	出演
歓呼の嵐（1934）	出演
最後の一人まで（1933）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.